

☆ 少し気遣って・・・

- 移動が困難な場合は、その状況に合わせて居住スペースを、通路側や窓口、出入口・トイレに近い場所に確保する。
- けがをしたときは誰もが心細くなるため、「大丈夫ですか」などの声掛けを定期的に行うなどで安心につながるため、できるだけ孤立しないように注意する。
- けが人ではないが、被災の影響でメガネなどをなくした人は、一時的に視覚に支障がでる場合があるため注意する。